

## 北区「はっぴー・すまいる」ビジョン(案)についてのご意見と本市の考え方

	ご意見の要旨	本市の考え方
1	堺市内には市立支援学校が 2 校あるが、北区にある百舌鳥支援学校と南区にある上神谷支援学校では、敷地の広さや施設に大きな違いがある。百舌鳥支援学校について、建替えや移転を行い、上神谷支援学校と同等の教育環境を整備してほしい。	市立支援学校全体のあり方については、児童生徒数の推移を見極めた上で整備の計画の必要性を含め検討を進めます。市立支援学校高等部の設置については、専門的な教育内容や施設整備、人材確保など多くの要素を満たす必要があり、特別支援教育における大阪府教育委員会との役割分担等も踏まえ慎重に検討する必要があります。ご意見は参考にさせていただき、今後も大阪府教育委員会などの関係機関と連携し、知的障害のある子どもたちが個々の希望に応じて多様な進路を選択することができるよう取り組みます。
2	現在、北区在住の知的障害のある高等部生徒は、羽曳野市にある府立西浦支援学校や堺区にある府立堺支援学校に通学している。北区内に、知的障害のある生徒が安全に通える支援学校の高等部を開校してほしい。	
3	北区の交通利便性を維持しつつ安心・安全を確保するため、歩行者自転車専用道路での無許可車両の取り締まり強化と法令遵守の周知を行い、また、各自治会に対して「歩行者自転車専用道路」の継続や時間指定の設定、土日祝日の指定解除などの確認を行ってほしい。	歩行者・自転車専用道路の安全確保は重要な課題と認識しており、警察の許可を得ていない車両や通行許可証を掲示していない車両が通行している場合には管轄する警察署に情報を共有し、巡回や指導、法令遵守の周知徹底の実施を申し入れます。また歩行者・自転車専用道路の規制の継続や時間指定・休日解除については地域の要望に応じて適切に対応します。今後も安全で快適な通行環境の確保に努めます。
4	地域イベントは特定世代向けが多く若い・働く世代は参加しにくいいため、参加促進だけでなく地域活動の役割をどう補完するかも検討すべき。子育てサークル支援は今後も継続してほしい。	本ビジョンは、区民、地域活動団体、区役所がそれぞれの役割を踏まえ、相互に連携し補い合いながら、地域共創を更に推進するための取組の方向性を基本方針としてお示したものです。いただいたご意見も参考に、多様な視点や連携を取り入れながら、引き続き北区の将来像実現に向けて取り組みます。
5	大阪都構想につながるビジョンであるなら、堺市が都構想に含まれてから対応を検討するのでは遅いと思う。	いわゆる大阪都構想は、大都市特別区設置法に基づき、大阪市を廃止、分割して特別区を設置し、広域自治体と基礎自治体の役割分担を明確にし、広域機能を大阪府に一元化する新たな大都市制度と認識しています。政令指定都市に移行して 20 年の節目を迎える本市では、効果的かつ効率的な区行政を推進しており、これまでもこの議論には入っていません。
6	北区には複数のパチンコ店が存在し、さらに大阪府市でカジノ誘致が進む状況を踏まえ、「ギャンブル依存症対策」をビジョンに盛り込んでほしい。	ギャンブル等依存症については、「堺市依存症地域支援計画」（令和 4 年 3 月策定）に基づき、こころの健康センターや北保健センターで相談や支援を行っています。この計画は北区を含む本市全体を包摂したものであるため、本ビジョンには記載しておりません。